

暦の上では春になりましたがまだまだ寒さが厳しい日が続いておりますね。感染予防対策をより一層しっかりとしながら、日々健やかに過ごせますように努めております。

作品展が無事に終了し、作品展では、子どもたちの一年間の成長を感じていただけたのではないかと思います。昨年度に比べて自分で出来るようになったことや作れるようになったことも増え、頭の中で想像したものを形にするということも上手になりました。年中組の子どもたちは活発な子も多いですが、創造することが大好きな子たちも沢山います。大型作品の恐竜はまさに子どもたちの創造力から生まれた作品となりました。お家から持ってきた廃材を組み合わせて「これでしっぽにしよう!」「背中につけたらかっこいいんじゃない?」と頭の中で考えたものを子どもたち同士で話し合いながら作り上げる様子に一年間の成長を感じました。とても巨大な恐竜でしたが子どもたちが協力し合い、アイデアを出し合ったことであつという間に恐竜の形になりました。廃材集めのご協力ありがとうございました。

年中組として過ごす時間も残りわずかとなってきました。あつという間に年長組に進級となります。ついこの間入園式を終えたようにも感じるくらいですが、子どもたちの姿を見るととても頼もしく大きく成長していることを実感します。今の年長組の子たちの姿を見て「次は自分たちがするんだ」と期待に胸を膨らませている様子も見られています。

年長組に進級するにあたって担任一同心を込めて保育してまいります。残りの期間も引き続きよろしくお祈りいたします。



(年中組チーム担任 月岡 茜)

直前インフォメーション

○お別れ会

3月2日(水) コロナ対策を実施しながら、全学年で年長組のお別れ会を行います

○終業式

3月4日(金) 午前保育のため短時間タイプは11:20降園です。ネクタイ、リボンの着用をお願いいたします。

○絵本袋

年度末に向けて、持ち帰るものが多くなりますので、絵本袋を持ち帰った翌日は忘れずにお持ちください



3月の目標

- ・自分で考えて積極的に行動し、友だちとの日々を楽しむ
- ・季節の移り変わりを感じながら、年長組への感謝の気持ちや進級への期待を持つ

3月の歌紹介

子ども園でも歌っているうたです。

ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪うれしいひな祭り

作詞：サトウハチロー

作曲：河村光陽

1 あかりをつけましょ ぼんぼりに
おはなをあげましょ もものはな
ごにんばやしの ふえたいこ
きょうはたのしい ひなまつり

2 おだいりさまと おひなさま
ふたりならんで すましがお
およめにいらした ねえさまに
よくにたかんじよの しろいかお

3 きんのびょうぶに うつるひを
かすかにゆする はるのかぜ
すこししろざけ めされたか
あかいおかおの うだいじん

4 きものをきかえて おびしめて
きょうはわたしも はれすがた
はるのやよいの このよきひ
なによりうれしい ひなまつり

♪春が来た

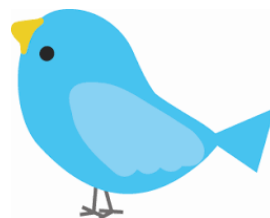
作詞：高野辰之

作曲：岡野貞一 編曲：三森桂子

1 はるがきた はるがきた どこにきた
やまにきた さとにきた のにもきた

2 はながさく はながさく どこにさく
やまにさく さとにさく のにもさく

3 とりがなく とりがなく どこでなく
やまでなく さとでなく のでもなく



3月の絵本

子どもたちが興味を持っている本絵本

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

・「きみはほんとうにステキだね」

作者：宮西達也

出版社：ポプラ社

年中組の子どもたちが大好きな恐竜、ティラノサウルスが主人公の一冊です。

友だちを大切に作る心や、思いやる気持ち。友だちを愛することで優しく変わっていく姿を、物語を通して子どもたちにも感じてもらえればと思います。

大人が読んで心動かされる素敵な絵本です。是非お子様と一緒に読んでみてください。



食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることをご紹介します。
ぜひ、ご家庭でも行ってみてくださいね。



～ひな祭りの食事の意味や由来とは？～

○3月3日はひな祭りですね！では、ひな祭りってどんな日？

ひな祭りは、女の子の健やかな成長を願う行事です。「桃の節句」とも呼ばれ、ひな人形に桜や桃の花、雛あられや菱餅などを飾ったり、ちらし寿司やはまぐりの料理を楽しむ節句祭りのひとつです。

この「ひな人形」、おひな様に女の子の穢れを移し厄災を身代わりになってもらうという意味が込められているのです。

○ひな祭りで食べられる伝統的な食事とは？

<はまぐりのお吸い物>

はまぐりの貝殻は、2枚の貝が対になっていて「お姫様」を意味しています。2枚の貝を合わせることから、

・仲の良い夫婦 ・良縁に恵まれますように ・一生一人の人と添い遂げるように

という意味が込められています。はまぐりの代用としてあさりを使うこともあるようです。

<菱餅>

菱餅を食べる理由は、もともと「上巳の日」に中国で母子草の持ちが食べられていたことから由来しています。日本では、母子草は縁起が悪いとされ、旬で香りの強いヨモギを使うようになりました。

・緑：ヨモギ→増血効果がある ・白：ひしの実→血圧を下げる ・赤（ピンク）；クチナシの実→解毒作用がある

という意味が込められています。また、菱餅の形であるひし形は、「心臓」を表していることから、我が子から災厄を除こうという気持ちや、親が娘の健康を願う気持ちが込められていると言われています。

<雛あられ>

雛あられはひな祭りに備える節句菓子で和菓子です。江戸時代に「ひなの国見せ」という風習がありました。江戸時代の女の子たちは、桃の節句にひな人形と一緒にピクニック感覚で外に出かけ、美しい自然をひな人形に見せながら雛あられを食べていたそうです。

雛あられには、3色（赤・緑・白）と4色（赤・緑・黄色・白）のものがああります。

3色の雛あられ ・緑：木々の芽吹き ・白：白い雪 ・赤（ピンク）：生命、桃の花

⇒3色のエネルギーを取り入れ、健やかな成長を願う

4色の雛あられ ・赤（ピンク）：春、桜 ・緑：夏、新緑 ・黄色：秋、紅葉 ・白：冬、雪

⇒1年中幸せに過ごせるようにという願いが込められている。

雛あられは地域によって形や味も様々なようです。

<白酒>

もともとは節句が伝わった中国からの影響で、室町時代には「桃花酒」というものが飲まれていました。それが、江戸時代から「白酒」が飲まれるようになりました。「白酒」は「甘酒」とは別のものです。中国では、女性の厄除けとして飲まれるようになったと言われています。

○その他によく食べられる物

・ちらし寿司 ・桜餅 ・てまり寿司 ・さざえ ・わらび、よもぎなど



それぞれに意味があり、調べてみると面白い季節の行事がたくさんあります。

ぜひ、ご家庭でも一つ一つの食事の意味について話をしながら、

お子様と一緒に食事の時間を楽しんでいただければと思います。